

国保みやざき

vol.4

2018年12月号

CONTENTS

01 クローズアップ

- 講演会の参加者を募集
スマートウエルネスシティ講演会～みんなで創る健幸なまちづくり～

02 NEWS & TOPICS

- 国保が抱える諸問題を共有
宮崎県市町村国民健康保険運営協議会 委員研修会
- 事務の精度向上を目指して
レセプト点検確認事務研修会
- 保険税収納率向上を支援
宮崎県国民健康保険実務研修会
- 心豊かな地域医療を目指して
第29回宮崎県国保地域医療学会
- 財政支援の拡充などを満場一致で採択
平成30年度国保制度改善強化全国大会



宮崎県国民健康保険
イメージキャラクター
「オレンジくん」

クローズアップ

講演会の参加者を募集

●スマートウエルネスシティ講演会～みんなで創る健幸なまちづくり～

本講演会は、スマートウエルネスシティに関する考え方や、スマートウエルネスシティの実現に取り組む先進事例等を紹介し、自治体職員や、健康づくり、地域づくりに携わる方々など、幅広い分野で活躍される関係者などを対象に開催するもので、各自治体における事業の推進につなげてもらうことを目的としています。

スマートウエルネスシティは、「健幸（身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送ること）」をまちづくりの中核に掲げた都市モデルです。

医療費等の増加や少子高齢化の進行、人口減少社会などが自治体の共通課題となっている今日、本会では、自治体における国保の安定運営の支援を目的に、市町村長が先進地を直接視察する「トップセミナー」を毎年度実施しています。

平成 29 年度、30 年度のトップセミナーでは、スマートウエルネスシティに関する視察を行い、この取組をより多くの皆様に知っていただくため、本講演会を開催することとなりました。

講師にお迎えする筑波大学 久野 譜也教授、新潟県見附市 久住 時男市長は、スマートウエルネスシティに関する取組の第一人者であり、スマートウエルネスシティに関する考え方や、実際の取組事例等についてご講演いただくこととなっています。

お 2 人の話を聞くことができる絶好の機会ですので、ふるって参加してください。

【講演会概要】

日 時：平成 31 年 1 月 15 日（火）
午後 2 時 30 分から午後 5 時
場 所：シーガイアコンベンションセンター
4 階 蘭玉
主 催：宮崎県国民健康保険団体連合会
講 師：久野 譜也 氏(筑波大学教授)
久住 時男 氏(新潟県見附市長)
参加料：無料

※参加を希望される方は本会総務企画課
(TEL0985-25-5321)までお問い合わせ
ください。



smart
wellness
CITY

お問い合わせ先 総務企画課 企画・事業係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

国保が抱える 諸問題を共有

●宮崎県市町村国民健康保険運営協議会 委員研修会

10月12日(金)、宮崎県市町村国民健康保険運営協議会 委員研修会を宮崎市民文化ホールで開催し、市町村の国保運営協議会委員など約120人が参加しました。本研修会は、市町村の国保運営協議会委員が一堂に会し、国保事業の運営上の諸問題に対して相互理解と認識を深め、事業の円滑な運営に生かすことを目的としています。

研修会では、国民健康保険中央会の原勝則理事長による「国保と国保連合会をめぐる諸情勢について～市町村等業務の支援強化に向けて～」と題した、特別講演を実施。また、ローカルガバメント・ネットワーク理事長の堀博晴氏による「国保制度を崩壊させないために」と題した講演では、先進的に収納対策に取り組む市町村の事例などが紹介されました。



お問い合わせ先 総務企画課 企画・事業係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

事務の精度向上を 目指して

●レセプト点検確認事務研修会

10月5日(金)、平成30年度レセプト点検確認事務研修会を宮崎市保健所で開催しました。本研修会は、宮崎県との共催で毎年秋に実施しており、市町村職員など約70人が参加しました。

研修会では、県国民健康保険課による点数表の解釈、本会の療養費担当による柔道整復施術療養費の審査などに関する説明が行われました。

また、本会の審査担当が保険者から提出される再審査申し出の事例を基に、減点されるポイントや減点されないポイント等を医科・歯科ごとに説明。その他、昨年度から実施しているグループワークでは、レセプト点検の方法や気を付けていることなど参加者たちの通常業務に関する意見交換を行いました。



お問い合わせ先 審査第1課 審査委員会係
TEL 0985-25-5504 / FAX 0985-25-5642
E-mail: sskanri@kokuhoren-miyazaki.or.jp

保険税収納率向上を支援

● 宮崎県国民健康保険実務研修会

10月11日（木）、宮崎県国民健康保険実務研修会（収納対策分野）を本会で開催し、県内16市町村から27人が参加しました。

本研修会は、市町村の保険税収納業務に従事する職員を対象に、宮崎県と本会が共同開催しているもの。研修や情報交換の場を通して、国保事業の効果的な運営方法を検討したり、実践的手法の研究を行ったりすることで、国保事業のより安定的な運営と充実・強化を図ることを目的としています。

本研修会では、基礎研修として、川南町税務課の小嶋裕子主査、小泉翼主事による「川南町の取り組みについて－検索により得られたもの－」と題した事例発表を実施。また、県税務課地方税徴収対策担当の木村昌夫主幹から税徴収関連法や滞納整理の手順などに関する講義が行われました。

その他、実践研修として、特定非営利活動法人ローカルガバメント・ネットワーク理事長の堀博晴氏による「国保制度を支える収納吏員～新なる領域への挑戦～」と題した講義を実施。出席者からは、「実例に基づく講義で勉強になった」「9割以上の納期内納税者のためにも、滞納整理が必要であると思った」等の意見があり、有意義な研修となりました。

保険者努力支援制度では、保険税収納率の達成状況や前年度からの改善状況が評価

指標の重点項目となっており、特別交付金の算定に反映されています。

今後も、県と連携し、保険税収納率の向上に取り組む市町村への支援に取り組みます。



講演する堀理事長



研修会参加者の様子

お問い合わせ先 保険者支援課 保険者支援係
TEL 0985-25-5083 / FAX 0985-31-4388
E-mail: sien@kokuhoren-miyazaki.or.jp

心豊かな地域医療を目指して

● 第 29 回宮崎県国保地域医療学会

10月27日（土）・28日（日）、第29回宮崎県国保地域医療学会をシーガイアコンベンションセンターで開催し、県内国保診療施設関係者や市町村職員等、約300人が参加しました。本学会は地域保険としての国民健康保険の理念を踏まえ、国民健康保険病院や診療所をはじめ、保健・医療・福祉関係者が一堂に会し、地域包括医療・ケアの実践の方途を探求し相互研鑽を図ることを目的としています。

初日は、2つの会場に分かれて29題の研究発表を実施。また、自治医科大学地域医療センター総合診療部門附属病院総合診療内科センター長の松村正巳教授による「地域を診る医師とその育成」と題した特別講演が行われました。

2日目は、12題の研究発表が行われたほか、「地域医療の神髄」をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。



お問い合わせ先 介護・健康推進課
TEL 0985-25-5244 / FAX 0985-25-5992
E-mail: jigyou@kokuhoren-miyazaki.or.jp

財政支援の拡充などを満場一致で採択

● 平成 30 年度国保制度改善強化全国大会

11月16日（金）、平成30年度国保制度改善強化全国大会が東京都で開催され、全国の市町村長や国保連合会など約1,500人が参加しました。

国保関係者が一堂に会して行われる本大会は、国保が地域保険としての機能を十分に発揮できるように、制度の改善強化を図ることなどを目的に毎年開催。大会では、医療保険制度一本化の早期実現や、保険料の激変緩和措置に必要な財源確保などを求める9項目の決議事項が満場一致で採択されました。

また、国会や政党、政府関係者などに対する陳情活動が行われ、河野正和副理事長（都農町長）をはじめ、木城町の半渡英俊町長、五ヶ瀬町の原田俊平町長などが参加。国による財政支援の確実な実施など、大会で採択された決議事項に基づく陳情書を手渡しました。



お問い合わせ先 総務企画課 企画・事業係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

第三者行為求償事務 Q&A (第1回)

今月号から、第三者行為に関する保険者からの問い合わせが多い事例について掲載します。

事例 1

【質問】被保険者から「自損事故」の届け出がありました。自損事故なので傷病届の提出は不要として取り扱っていいのでしょうか。

【回答】単なる自損事故の場合は、運転者自らの過失と判断できるため、傷病届を提出していただく必要はありません。ただし、道路施設等の瑕疵が原因で発生した自損事故の場合は、管理者へ賠償請求することができます。また、同乗者が負傷した場合は、運転者が加害者（第三者）となる場合もありますので、同乗者から傷病届を提出していただくことになります。

事例 2

【質問】求償業務を国保連合会に委託する際は傷病届を提出することになっていますが、傷病届および添付書類を含めて全ての書類が揃わないと国保連合会に委託できないのでしょうか。

【回答】本会が請求事務を行うためには傷病届が必要ではありますが、添付書類を含め全てが揃わないと委託できないわけではありません。揃った書類のみ先に提出していただき、他の書類を後日提出していただいても事務処理上の支障はありません。ただし、事故証明書と事故状況報告書(どちらも原本)は保険会社に提出する書類となりますので、先に揃っている必要があります。

事例 3

【質問】保険者で受領した「事故証明書」が、原本ではなく写しの場合でも、求償事務を行うことはできますか。

【回答】求償事務を行うに当たり、請求先が自賠責保険の場合は原則「原本」の提出が必要です。請求先の自賠責保険会社から『原本を誰が所持しているか』といった照会を受けることがありますので、写しで提出される場合には、原本の所在を確認していただくか、原本証明されたもの（保険会社を取得した場合、「この写しは原本と相違ありません」と表示）を送付してください。

お問い合わせ先 保険者支援課 求償係

TEL 0985-25-5101 / FAX 0985-31-4388

E-mail:kyusho@kokuhoren-miyazaki.or.jp

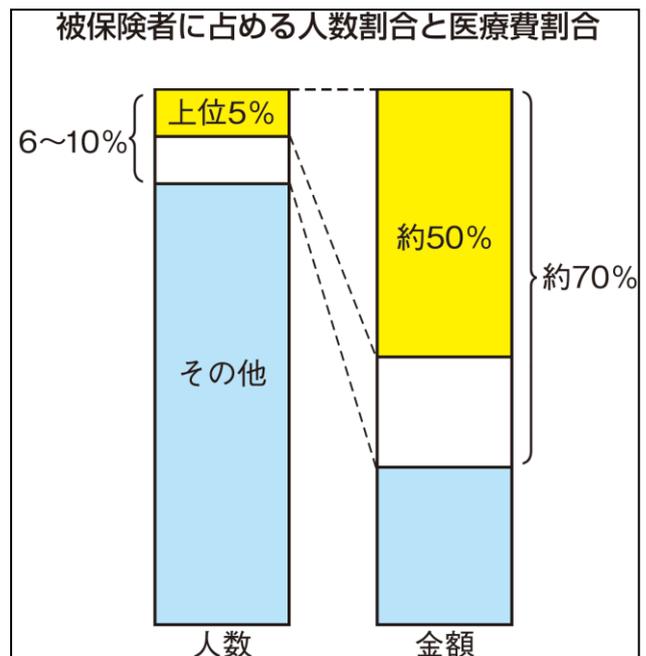
こくほ随想「重症化予防と医療費適正化」

合同会社 生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明

特定健診・特定保健指導制度が施行されて10年が経過し、保険者による保健事業の定着に伴い、生活習慣病の重症化予防などの新たな視点が強調されるようになってきた。こうした事業は「疾病管理モデル」に基づくもので、従来の保健事業とは一線を画したものである。ここでは、重症化予防事業がなぜ必要か、どのような視点で取り組むと効果的なのかについて述べたい。

多くの保健師や管理栄養士は、保健事業の目的はという問いに「健康をいつまでも維持すること（健康増進）」と答えるだろう。公衆衛生分野では、長年このような考え方にに基づき様々な活動が行われてきた。しかし保険者の保健事業の視点から考えると、健康増進だけが目的ではないことが明らかになりつつある。多くの住民は加齢に伴って、高血圧や糖尿病を発症し、治療が必要となる。生活習慣病による高額医療者（脳卒中、心筋梗塞、慢性腎不全など）の多くはこの中から生じる。特に未治療、治療中断、治療していても効果が上がらないことは高額医療の原因となることがわかっている。私どもの研究では、50歳代の男性で健診結果が高血圧グレードⅢ（180/110以上）の人は、至適血圧（120/80未満）の人と比較して一年以内に高額医療者となる確率が3倍になった。

問題はこうした高額医療が、医療費全体の多くを占めることである。下図は被保険者に占める人数割合と医療費割合との関連を模式的に示したものである。医療費は血圧や体重などと異なり、特殊な分布を表す。下図をみると、支出上位5%の人の医療費は全体の50%を占め、上位10%までとすると全体の70%を占めることがわかる。



したがって、少数の高額医療予備群を適切に抽出し手厚く管理して対策できれば、高額医療の発生を減らせる可能性がある。こうした考え方を「疾病管理モデル」といい、もともとは臨床での重症者の合併症予防に関する考え方から生じたものである。保険者の保健事業には、住民の健康確保と

医療費の適正化を実現することが求められている。

高額医療のハイリスク者への対策は、高度異常の未治療者や中断者に対して医療機関受診と適切な治療を促す「受療勧奨」と、治療中でもコントロールの悪い人に対する「保健指導」の2つの事業に区分される。

保険者にとって最も基本的な保健事業は前者であり、受療勧奨によって適切な治療が行われればリスクは大きく軽減される。要治療となっても放置されているケースはまだ多く、健診受診者に対する系統的な受療勧奨の体制を整備することが重要である。

治療中でも体重管理が不十分、服薬が不適切などの理由で検査結果が改善しなけれ

ば、合併症のリスクを下げることはできない。従来、治療中の患者は臨床医の専権事項と考えられてきたが、少しずつ考え方が変わってきている。

「疾病管理モデル」に基づく事業は医療関係者との連携が必須で、コンセンサスなしに事業を行っても効果は期待できない。医療関係者とのネットワーク形成のためには最初の事業展開は「受療勧奨」のほうがよい。この体制整備と効果の確認を医療関係者とともに行うことが望ましく、十分な効果を確認することが第2弾の治療中ハイリスク者の「保健指導」の実施を容易にする。

(記事提供 社会保険出版社)

【プロフィール】

岡山 明

(おかやま あきら)



生年月日 1955年8月24日

合同会社生活習慣病予防研究センター 代表

日本循環器病予防学会 理事

国立循環器病研究センター 予防健診部 客員部長

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員教授

岩手医科大学 非常勤講師

日本大学医学部兼任講師

【学歴】

1978年 東京大学教養学部基礎科学科卒業

1982年 大阪大学医学部医学科卒業

【免許等】

1982年 医師免許取得

【学位】

1989年 医学博士 (大阪大学)

【職歴】

1983年 大阪大学医学部 助手 (環境医学講座)

1989年 滋賀医科大学医学部 講師 (保健管理学講座)

1994年 滋賀医科大学医学部 助教授 (福祉保健医学)

1999年 岩手医科大学 教授 (医学部衛生学公衆衛生学)

2004年 国立循環器病センター 予防健診部長

2007年 財団法人結核予防会 第一健康相談所長

2014年4月 国立循環器病研究センター 予防健診部 客員部長

2014年5月 生活習慣病予防研究センター 代表

2016年7月 一般社団法人適塩・血圧対策推進協会 代表理事

【受賞】

2014年2月 遠山椿吉記念 第3回 健康予防医療賞受賞

2014年6月 第29回日本心臓財団予防賞

～「生活習慣病に対する総合的保健指導法の開発と普及」における実績より～

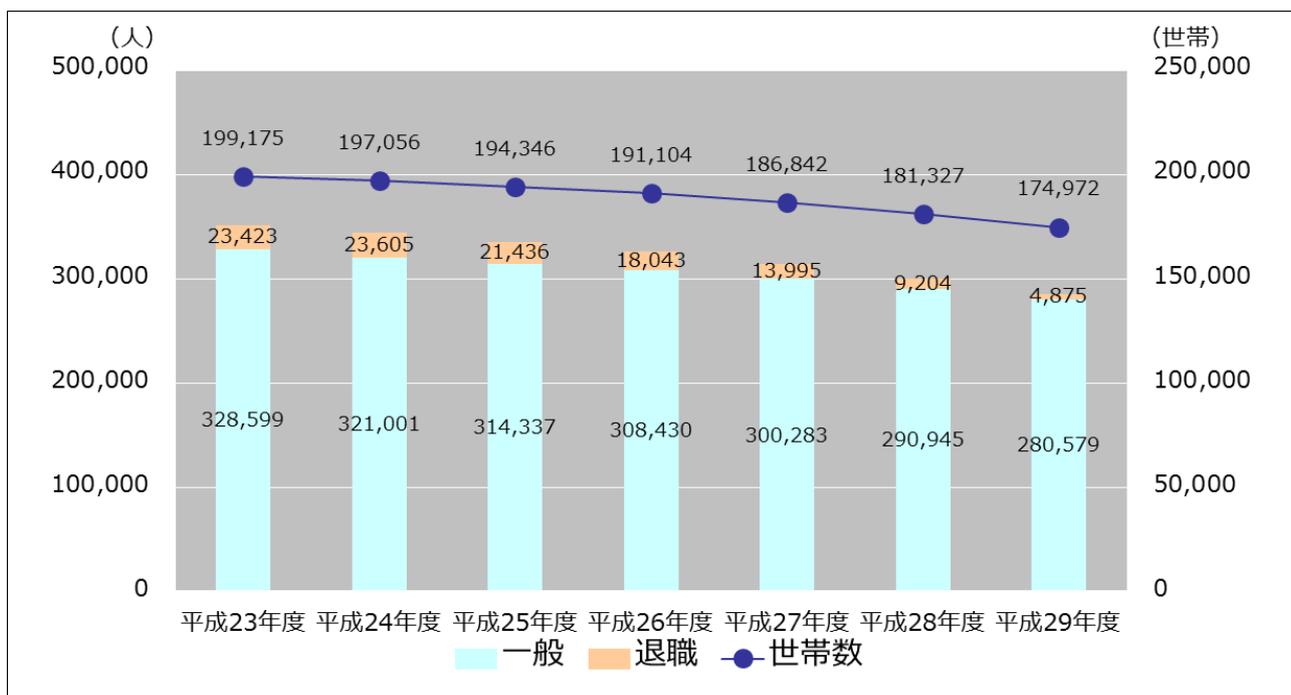
2014年12月 日本総合健診医学会 H26年度優秀論文賞

「特定保健指導の効果評価と対照設定の方法に関する研究」

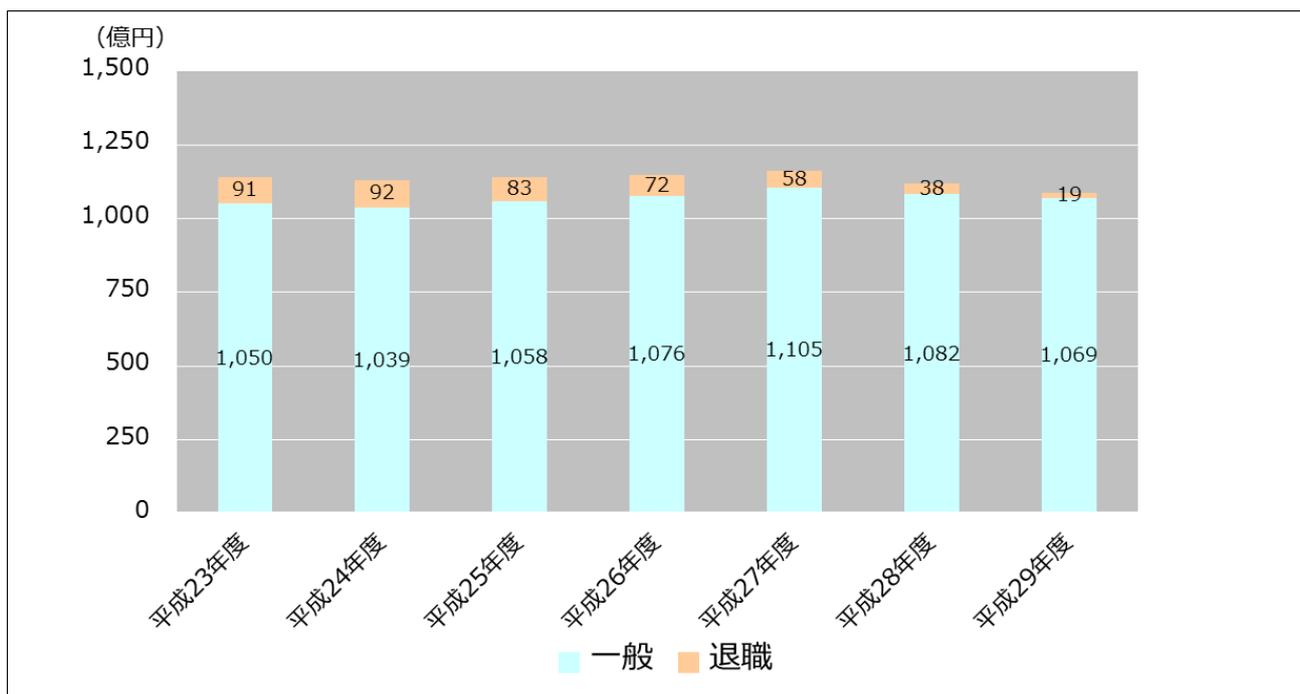
こくほデータ

(注) 数値は、国保事業年報より

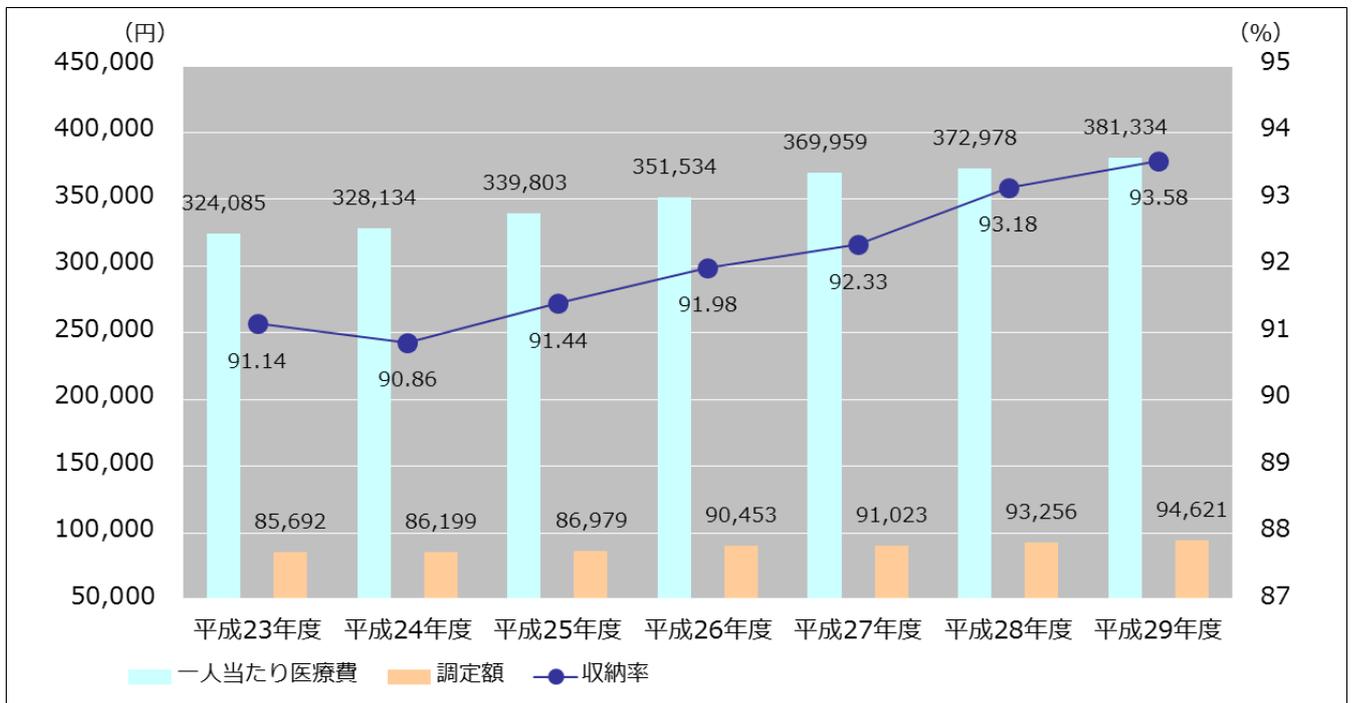
●年間平均被保険者数および世帯数（市町村分）



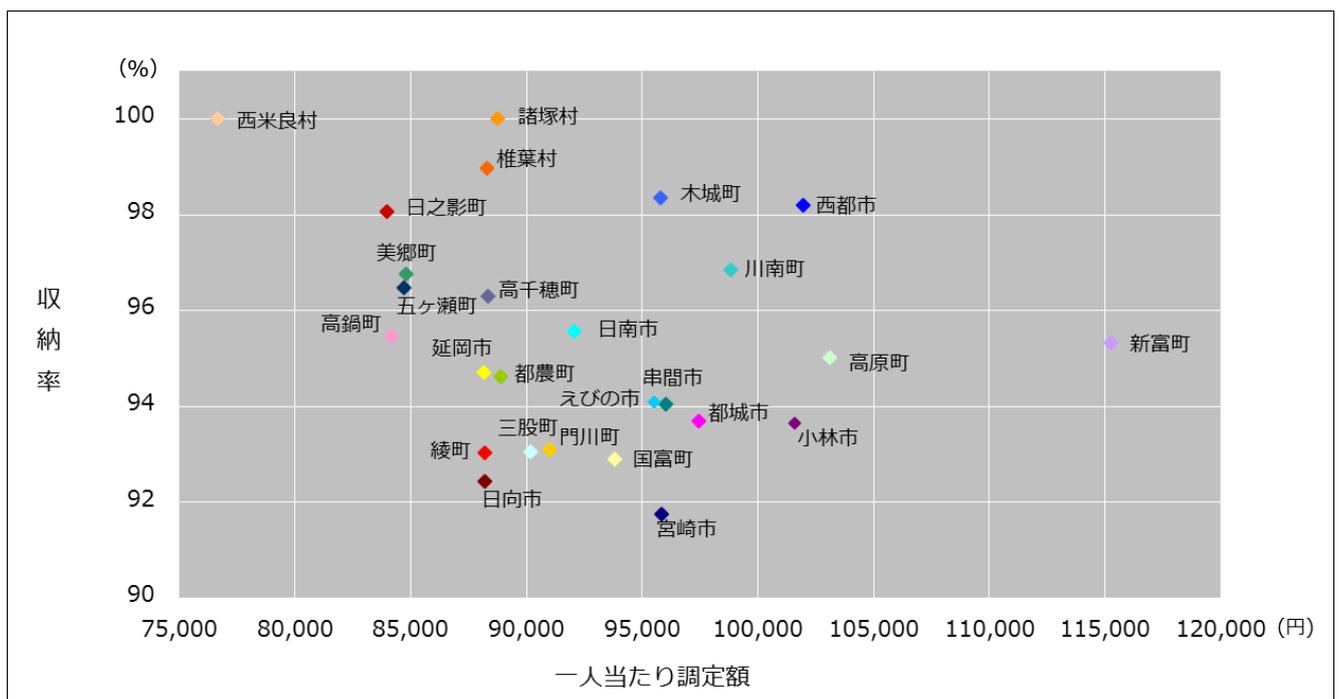
●国保医療費の推移（市町村分）



●一人当たり医療費・調定額および現年度分収納率状況（市町村分）



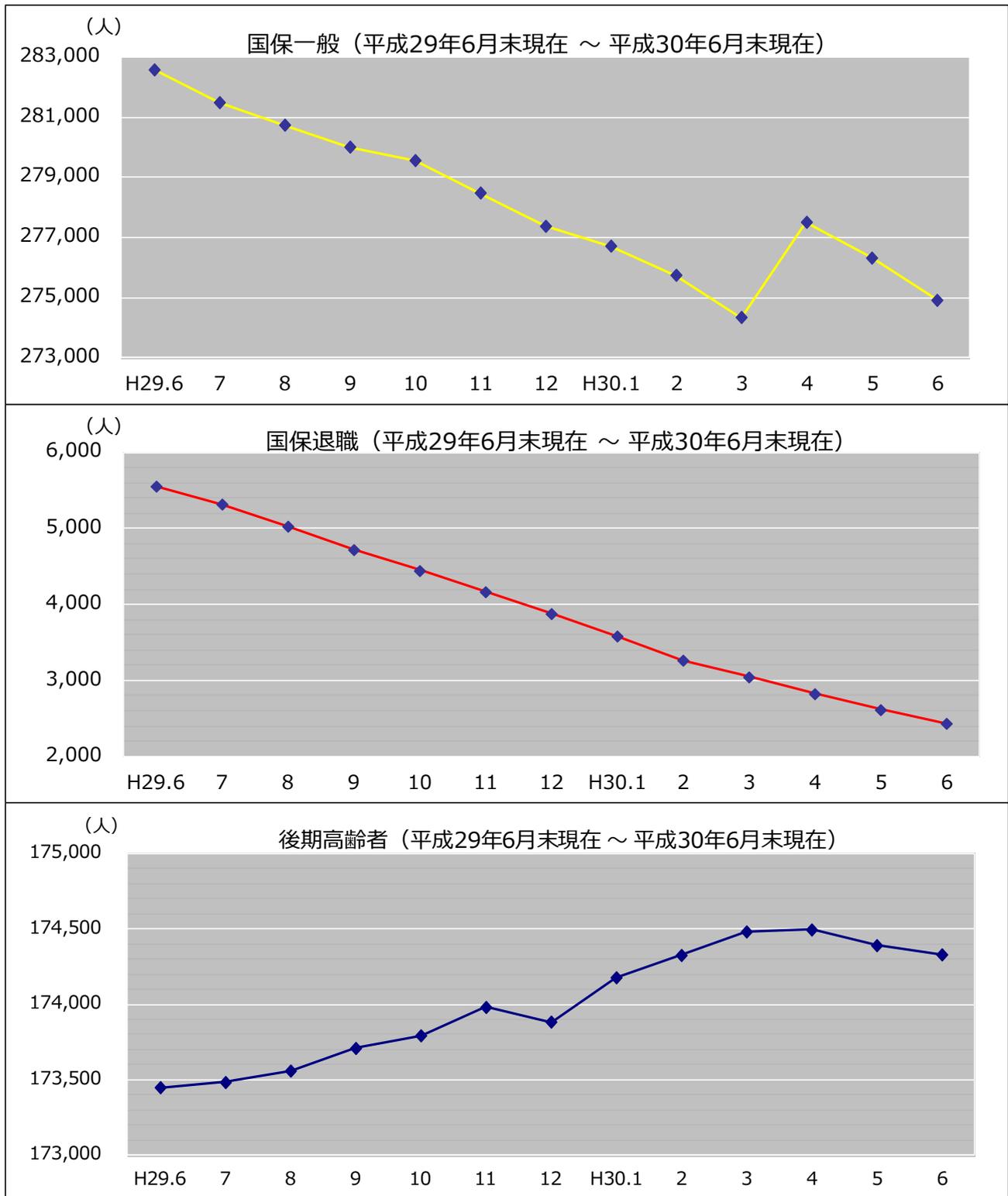
●平成 29 年度 市町村別保険税一人当たり調定額と現年度分収納率状況



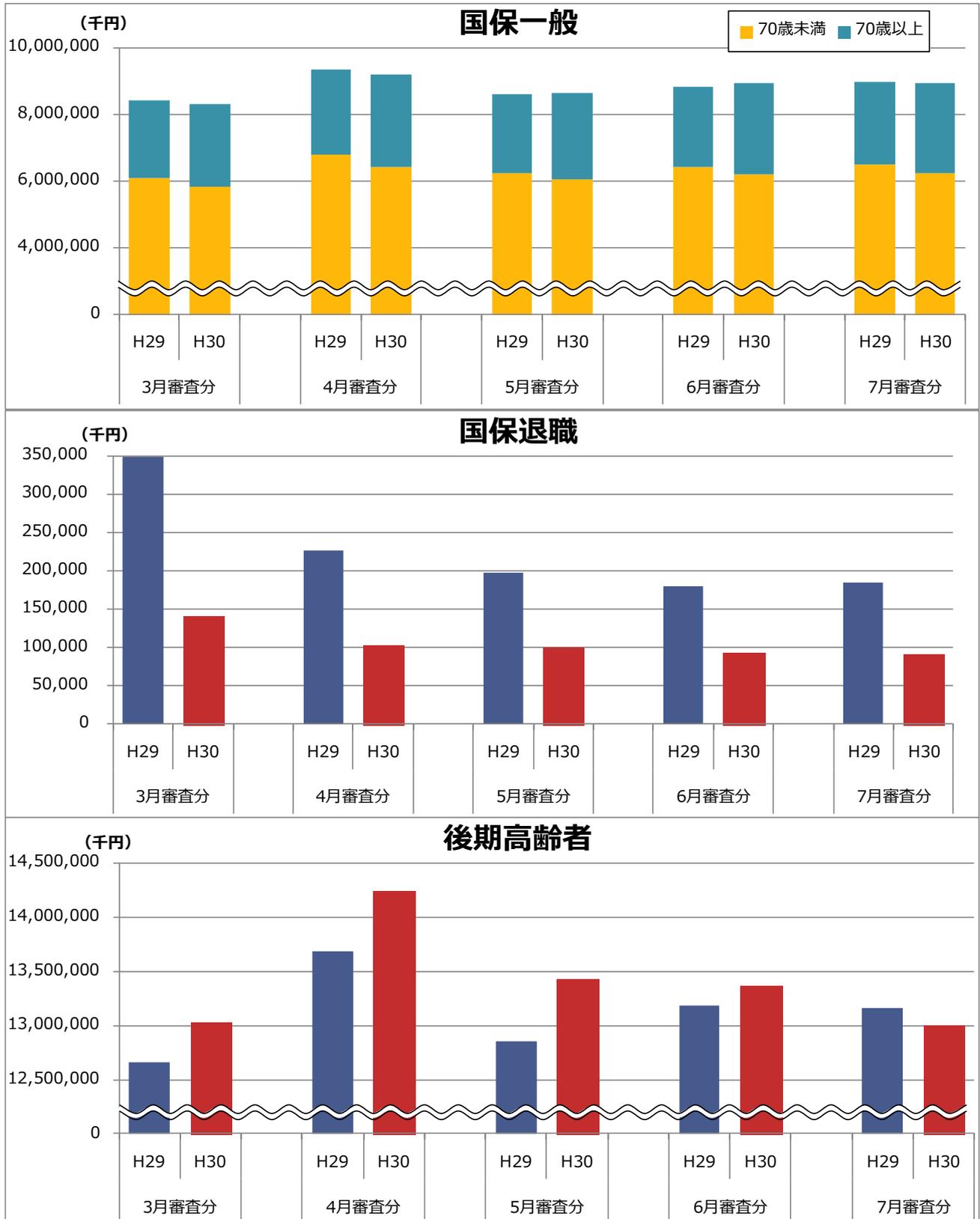
医療費データ

(注) 数値は、市町村月報集計（速報値）および宮崎県後期高齢者医療広域連合からの提供

●被保険者の推移

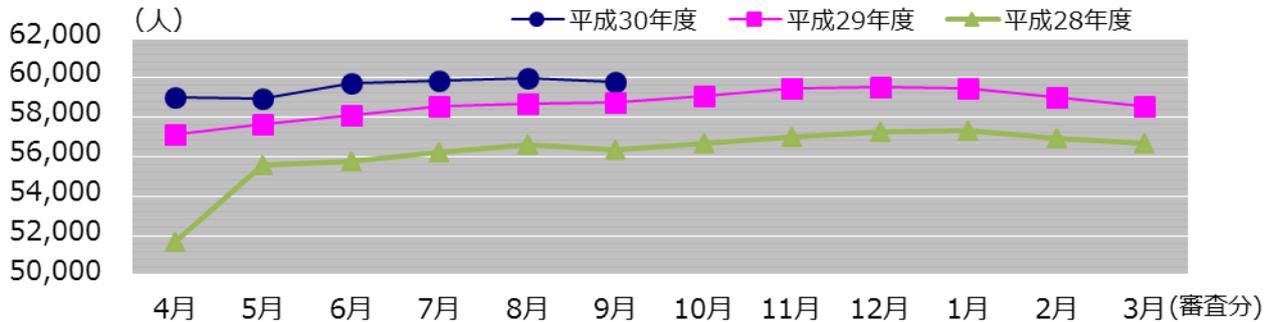


● 月別医療費



介護保険だより

● 年度別・月別受給者推移



介護保険データ (平成30年4月審査分～平成30年9月審査分)

保険者名	確定件数状況			介護給付費 (総合事業を含む)			
	29/4月～29/9月	30/4月～30/9月	対前年度伸び率	29/4月～29/9月	30/4月～30/9月	対前年度伸び率	順位
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	
宮崎市	233,872	241,807	103.4	14,660,999,441	15,157,645,736	103.4	6
都城市	128,028	130,498	101.9	7,732,910,757	7,882,515,279	101.9	12
延岡市	97,190	98,272	101.1	6,201,896,409	6,231,397,594	100.5	16
日南市	42,561	41,792	98.2	2,949,072,613	3,003,542,637	101.9	13
小林市	37,625	38,037	101.1	2,602,144,078	2,662,283,555	102.3	10
日向市	35,519	34,577	97.4	2,369,509,371	2,356,040,351	99.4	19
串間市	14,605	14,234	97.5	1,166,671,508	1,125,275,521	96.5	23
西都市	21,543	21,768	101.0	1,711,201,097	1,713,084,635	100.1	17
えびの市	18,530	18,627	100.5	1,387,079,295	1,421,448,053	102.5	9
三股町	15,593	15,411	98.8	987,928,281	1,005,656,526	101.8	14
高原町	6,652	6,746	101.4	510,132,665	542,228,500	106.3	2
国富町	15,230	15,889	104.3	1,000,944,119	1,056,546,961	105.6	3
綾町	5,381	5,337	99.2	377,853,155	383,662,468	101.5	15
高鍋町	10,660	10,861	101.9	740,855,414	779,252,919	105.2	5
新富町	7,908	7,968	100.8	639,129,174	627,429,125	98.2	22
西米良村	833	801	96.2	83,597,767	79,004,255	94.5	24
木城町	3,516	3,773	107.3	289,126,501	310,197,693	107.3	1
川南町	8,985	8,830	98.3	680,533,782	700,377,715	102.9	8
都農町	6,682	6,329	94.7	494,717,939	487,924,056	98.6	21
門川町	10,246	10,962	107.0	650,731,031	686,419,567	105.5	4
諸塚村	1,700	1,581	93.0	105,989,602	99,030,234	93.4	25
椎葉村	2,459	2,431	98.9	168,113,181	171,510,953	102.0	11
高千穂町	8,223	8,591	104.5	582,316,593	599,558,196	103.0	7
日之影町	3,590	3,226	89.9	296,126,907	292,651,742	98.8	20
五ヶ瀬町	2,653	2,543	95.9	196,028,856	181,487,541	92.6	26
美郷町	6,139	5,942	96.8	482,147,707	480,903,630	99.7	18
市町村計	745,923	756,833	101.5	49,067,757,243	50,037,075,442	102.0	

* 確定件数・給付費は国保連合会審査支払データによる。

* 給付費合計…介護給付費、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費および総合事業費の合計。

* 前年度伸び率は、29年度を100とした場合の%の表示。

お問い合わせ先 介護・健康推進課 介護福祉係

TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260

E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

国保連行事予定（12月・1月）

●12月

日	曜	行事	場所
8	土	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室
9	日		
10	月	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
13	木	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
15	土	国保審査委員会（～19 日）	国保連 本館 4 階大会議室
17	月	国保審査小委員会	国保連 本館 1 階ライブラリー室
19	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
21	金	介護給付費審査委員会（医療部会）	国保連 東別館 1 階会議室

●1月

日	曜	行事	場所
10	木	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
11	金	宮崎県国民健康保険診療施設連絡協議会 定例役員会	国保連 本館 1 階ライブラリー室
15	火	スマートウエルネスシティ講演会	シーガイアコンベンションセンター
17	木	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
19	土	国保審査委員会（～23 日）	国保連 本館 4 階大会議室
21	月	国保審査小委員会	国保連 本館 1 階ライブラリー室
23	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
24	木	介護給付費審査委員会（医療部会）	国保連 東別館 1 階会議室
25	金	宮崎県国民健康保険診療施設連絡協議会 事務長会議	国保連 本館 2 階第 2 会議室
31	木	国民健康保険税収納率向上実地研修 支援事業（～2 月 1 日）	延岡市役所

イベント用機材等の貸し出し

市町村の皆さまが実施する健康まつりやイベントなどで活用できます。
詳しくは、本会ホームページをご覧ください。

貸し出し品一覧

- オレンジくん着ぐるみ
- 体組成計
- もの忘れ相談プログラム
- 超音波骨量測定装置
- ライフコーダEX（生活習慣記録機）
- チェッカーくん（足指力測定器）
- マイクロCOモニター（呼吸ガス分析装置）
- 健康パネル
- ロールアップバナー



皆さんのまちへ、
ボクを呼んでください！

宮崎県国民健康保険イメージキャラクター
「オレンジくん」

**Orange
Smile**
オレンジスマイル

ささえる。
つながる。

国保みやざき vol.4 2018年12月号

宮崎県国民健康保険団体連合会

〒880-8581 宮崎市下原町 231-1

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp

「オレンジくんの部屋」も
見てね！



ホームページをリニューアル!!

スマホからはこちら ▶

